

小山勇朗市議会報告

2022年
10月25日

社民フォーラム
市議団
「太白事務所」

令和4年第3回定例会市議会・去る10月6日に終了。今回の第3回定例会市議会は、令和3年度の一般会計、特別会計、各企業会計の決算認定など35件の議案審査が行われました。一般会計の歳入は、前年度に比して3.6%減の6,399億円余で、歳出は3.7%減の6,298億円余で実質収支額は約67億円の黒字となりました。特別会計は約3,129億円、企業会計は2ね098億円で、会計総額は10年連続1兆円越えの約1兆1,525億円となりました。



(第一分科会で質問する小山議員)

代表質疑には辻議員、一般質問にはひぐち議員、いのまた議員が行いました。小山議員は、決算等審査特別委員会の委員長に選出され全体会議での決算審議進行に努めています。この全体会議が行われる前に、三分科会が行われ、小山議員は第一分科会の

委員として出席し、津波浸水時の避難タワーについて、宮城県が行った新津波浸水想定によれば、再度構造計算をしなければいけないのか、それらに係る必要経費については県に求めるべきと質しています。また、市内中心部における震災復興メモリアル建設が10年以上経過しても具体的にならない、音楽ホールとの合築で考えているようだが、その音楽ホールについても今後

10年以内にはできるのかあいまいである。音楽ホールの構想ができ、設計に入るようになれば震災復興メモリアルについても明らかになると思うが、一日も早く着工できるよう求めた。市立病院関係についてはコロナ患者の受け入れ態勢、更には人件費を削減した理由、疲れや感染拡大などで休む方が多

くなるのでマンパワー不足に対する対策を求めています。仙台市急患センター、仙台市北部急患診療所についてSNSによる口コミは急患センターとして大変重いものがある、急患センターにいらした方が大変な不評を掲載している実態。放置できる問題ではないとして、仙台市が毎年6億以上の予算で委

託している事業である以上、令和元年度での患者数67,000人余からすると、令和2年度4万人以上の減、令和3年度も37,000人以上の減、この事を厳しく総括し、減少した要因を精査し、市民の信頼回復を図るべきと質しています。

今議会での補正予算は総額176億3,600万円。一般会計補正予算で

は、感染症対策としてワクチン接種費、新設の「陽性者サポートセンター」の運営費など83億7,718万円が計上されました。他に保育所・幼稚園教諭放課後児童支援員等処遇改善事業費、プラスチック製品の一括回収事業費(指定袋の変更、収集・運搬手数料等)観光客誘致・インバウンド推進事業費、新津波浸水想定に伴うハザード

マップ作製費、3月の福島県沖地震被害住宅応急処理経費及び福祉施設等災害復旧費が計上されました。また、コロナ禍で減収となった事業者への「中小企業等事業復活支援給付金」を7月12日に市長が専決処分した件も提案されました。更に、電力・ガス食料品等の価格高騰に対応して、住民税非課税世帯に5万円給付する事業費71億余、来春仙台市で開催することが決定した「G7」科学技術大臣会合の準備経費8千万円余について追加補正予算が提案されました。

新型コロナ対策予算について。令和4年度一般会計補正予算第6号(84億9,3754千円)、内訳はPCR検査等実施医療機関への補助7,1466千円、オミクロン株対応ワクチン接種58億4,200万円余、保健所への看護師配置経費3億270万円余、感染症患者移送費の追加3億160万円余、保険適用PCR検査等自己負担分給付費5億8200万円余、感染症入院患者医療費負担診療報酬1億1600万円余、自宅療養者生活支援事業費8億7600万円余、検査キット配送・陽性者登録センター経費8,100万円余、健康フォローアップセンター運営費2億150万円余、観光魅力創出事業費730万円余、観光客誘致宣伝事業費1,100万円余、インバウンド推進事業費1,200万円余、東北連携推進事業費560万円余、宿泊者向け事業継続支援事業費8000万円となっています。

お知らせ①

①製品プラスチック一括回収・リサイクルに伴う条例改正と補正予算が提案されました。概要については、令和5年4月から製品プラスチック一括回収・リサイクルを実施するにあたり、「仙台市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正及び周知広報に係るものです。開始時期は令和5年

4月1日、収集の対象は製品プラスチック及びプラスチック製容器包装(プラスチック素材100%のものに限る)、分別の名称はプラスチック資源とする。収集日及び排出方法は、現行のプラスチック製容器包装の日に(週1回)に、プラスチック資源をまとめて指定袋に入れて排出する。リサイクルは、市内の民間リサイクル施設

(J&T環境株)において、物流パレット等へリサイクルを行う。指定袋のデザインを一部変更するが現在のプラスチック指定袋も引き続き使用可能です。

お知らせ②、「ご遺族サポート窓口」の市内全区で開設します。時期は、令和4年11月市ホームページ等による周知・広報、令和4年12月1日か

ら全区で開設します。時間は平日8時30分から17時まで。申込み枠は午前9時から12時、午後13時から17時、利用できる方は亡くなられた方のご遺族や同居の方等、(亡くなられた方が住民登録されていた住所地の区役所・総合支所)、利用の流れイ.利用者による事前申し込み(電話・オンライン等、ロ.ご遺族サポート窓口と各担

当課が連携し、必要な手続きを抽出、ハ.利用者へ必要な手続きや持ち物等の連絡・確認、二.ご遺族サポート窓口・各担当課の窓口で手続きの流れになります。全体での手続き数はワンストップ37、制度説明7、各担当課で対応するもの40となります。

仙台市は、県が水面下での協議が進められ、基本合意に至ることになれば、各地域で市民・県民の命と健康を守ってきた4つの病院が、経過や根拠も十分に示されないまま、場所を移した上で、2つに統合・合築されることになり、市民・県民が将来にわたり安心して医療を受けることができないとして、県知事に対し再度住民や患者、医療関係者の様々な不安や疑問を真摯

に受け止め詳細かつ丁寧な説明を最大限行うよう求めています。1.県は、再編による仙台医療圏の救急医療体制への影響に関して、各消防本部における現場の実態を十分に把握するとともに、本市がこれまで指摘してきた問題点も踏まえた上で、宮城県で示した効果が確かに見込めるのか、詳細なシュミレーションの結果とともに現時点での見解を明らかにされたい。2.県立精神医療センターの現状認識、重

症患者は仙台以南受け入れ可能な医療機関が存在しない、移転した場合の影響、受療環境をどう確保するのか、3.一般病棟との合築により、精神保健福祉法の規定や現実の患者などを踏まえた上で、両病院がどのように連携して機能の実現を図ろうとしているのか。その他にも日赤と癌センターが統合した場合高度癌センターとしての役割が示されず本件癌医療の後退に

なるのではないかと。4.地域における周産期連携体制の構築についての見解。5.仮に、市内2病院が移転した場合の患者や地域住民等に生じる影響の分析評価を明らかにすべき等について回答を求めています。知事の勝手な考えは許さない戦いが必要です。

去る、10月13日午前9時に、令和5年度の予算に向けた「社民フォーラム市議団」として郡市長に要望書を提出いたしました。◇条例の制定として・子どもの権利条例・交通基本条例・給付型奨学金条例・公契約条例・文化芸術振興条例・パートナーシップ宣誓制度、◇市政運営として・コンプライアンス遵守体制・公正・適正な入



郡市長へ令和5年度予算要望・物価高騰対策を要請

札制度、・定数延長に伴う定数管理・非正規職員の待遇改善、・指定管理者制度の見直し、・外郭団体職員の処遇改善、◇県政との関連施設に関して・女川原発の再稼働停止、・水道民営化計画の撤廃、・特別支援学校の市内増設、・宮城発展税・環境税の市域内活用の明確化、・4病院の連携・統合の中止、◇平和行政の推進・非核平和都市宣言・平

和行政平和教育の推進、◇新型コロナウイルス感染症対策・PCR・抗原検査等の拡充、・ワクチン接種体制の強化、・医療提供体制の拡充、・経営困難事業者への支援、・雇用対策の拡充、・市民生活への適切な対応、・公共交通への支援、◇物価高騰等に伴う支援強化について、・食材価格高騰に伴う学校・

保育施設等の給食物資支援、・福祉・医療機関等への財政支援、・収益減少事業者への支援、・公共交通・運送事業者への支援、・肥料・飼料等高騰に対する農畜産業者への支援について、仙台市政運営に関する要望として提出いたしました。

太白区内の要望

「南仙台駅問題」について、バリアフリーの観点から、エレベーターの設置を求め南北に設置することができました。南仙台駅の関係は、橋上化駅に要望を切り替えながら、西側に改札口の設置も求めています。本年7月に、仙台市として利用者数の調査とアンケート調査も行いましたので、その結果なども注視しながら、一日も早く、利用者の利便性が高まるよう取り組んでまいります。

区名	要望内容	担当局
太白区	周辺住民にとって利便性の高い駅舎となるように、南仙台駅の橋上化についてJR東日本と協議を進めること。協議経過について文書回答を求める。アンケート結果についても明らかにすること	都市整備局
太白区	都市計画道路郡山折立線の早期の整備促進を図ること 長町八木山線の信号間隔、円滑走行対策、一部未開通部分の整備を促進すること 地域の幹線道路である南仙台四郎丸線の凍結を見直し、さらなる延長を図ること	建設局
太白区	茂庭台地区などを始めとする郊外部の除雪開始時間を早めるなど十分な対策をとること。歩道のない市道については、除雪を基本として進めること	建設局
太白区	後田川の護岸工事の推進など災害対策を強化し、多自然型整備をすすめること。定期的な除草など河川管理、監視を継続すること	建設局
太白区	水害防止に向け名取川の中州除去を民地所有者や地域住民の協力も得ながら行うこと	建設局
太白区	仙台市立袋原小学校の体育館を早急に建て替えること。また、東四郎丸小学校の外トイレの改修を早急を実施すること。避難所の関係もある	教育局
太白区	仙台市立中田小学校の建て替えを行うこと。防災の資機材倉庫の増設を行うこと	教育局
太白区	西多賀中学校の校庭から近隣住宅地に野球のボールが飛び出すことがあるため、早期に校庭のネットを高く補修するなどの対策を行うこと	教育局
太白区	上野山小学校の建替にあたっては、児童・保護者・地域住民の意見をできるだけ反映した特色ある学校づくりを進めること。また建替中の教育環境への配慮を行うこと。金剛沢小学校の体育館、八木山中学校の体育館を早急に全面改築すること	教育局
太白区	馬場小学校、秋保小学校の統合にあたっては、両小学校区や秋保中学校区ほか、児童生徒・保護者・地域住民と十分な協議をし、新築される学校のあり方を検討して特色ある学校づくりを進めるとともに、人口流出を防ぐため交通環境や子育て環境の充実等一層の地域振興策を実施すること。	教育局 太白区
太白区	中田中央公園内にある「サッカー場」は砂地の為、風による砂嵐で近隣の家屋に被害をもたらしている。サッカーくじ助成金等を活用して芝生化をすること	太白区
太白区	四郎丸昭和北字芳塚の水路改修を行い、道路に附属する側溝と位置付けた上で、道路の拡幅を早急を実施すること。	太白区
太白区	中田町堰場「市営バス停・堰場2」前の交差点が危険な状態にあるので信号機の設置を行うこと	太白区
太白区	都市計画道路南仙台四郎丸線の低木植栽及び、公園の高木・低木の剪定を年3回にすること	太白区
太白区	金剛沢三丁目と鉤取三丁目と金剛沢橋の五差路に信号を設置するなど安全対策を行うこと	太白区
太白区	市道上野山線の上野山一丁目付近の狭隘道路を改良すること	太白区
太白区	八木山香澄町・松波町付近の商店街の歩道・道路を改良し歩行者の安全に努めること。倒壊のおそれや生活の妨げになる樹木への対策をとること。	太白区
太白区	松が丘と青山一丁目の境のコンクリート製擁壁の老朽化が進んでいるため、所有者不明状態を解消するための必要な措置をおこない、事故予防の対策をとれるよう周辺住民との協議をすすめること	太白区
太白区	山田と太白団地への交差点や山田交番前付近の児童の通行の安全対策に努めること	太白区
太白区	西多賀小学校西側(正門側)の通学路は交通量も多く、非常に危険な状況にあるので、人命を重視して、事故が発生しないうちに改善を図ること。学校の敷地内の使用、人家側への道路拡張などを検討しながら市道の拡幅をし、通学路を十分に確保し安全対策を十分に行うこと	太白区
太白区	放課後児童クラブ事業が実施されていない秋保小学校区で放課後に保護者が家庭にいない児童の健全育成の体制確保のため、地域住民との協議を進めること	子供未来局